

YOKOSHIN NEWS

平成 29 年 12 月 27 日
横 浜 信 用 金 庫

《よこしん》景気動向調査結果について

－平成 29 年 10～12 月期実績、平成 30 年 1～3 月期予想－

横浜信用金庫(理事長 大前 茂)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

(全業種総合)業況・売上額・収益 DI 共に改善、来期は悪化するもプラスを維持する見込み

- 今期(平成29年10～12月期)の全業種総合業況判断DIは、前期比2.5ポイント上昇の10.0と改善した。来期は、今期比2.7ポイント低下の7.3と悪化するもプラスの維持を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比12.7ポイント上昇の18.7となった。来期は、今期比4.0ポイント低下の14.7を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比2.6ポイント低下の5.6となった。サービス業は前期比7.6ポイント低下の5.4、建設業は同5.8ポイント低下の31.3、不動産業は同5.8ポイント低下の0.0となった。

【特別調査】「平成 30 年の経営見通し」

- 日本の景気見通し「普通」61.1%、次いで「やや良い」18.4%
- 平成 30 年の自社の業況見通しは「普通」が最多回答 62.7%
- 平成 30 年の自社の売上額の伸び率は「変わらない」が最多回答 52.5%
- 業況が上向き転換点「見通しが立たない」23.7%、「すでに上向いている」22.4%

[特別項目・景気回復を実感できる状況]

- 景気回復が実感できる状況は「企業収益の改善」64.3%、「賃金の上昇」43.6%

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774 先 有効回答数:754 先

調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成 29 年 12 月上旬

※ その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。

* 本件に関するお問い合わせ先 * 総合企画部: 汐見、石井 電話: 045-680-6912



横浜信用金庫